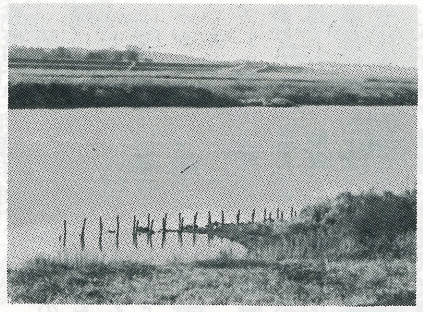




# とね

茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和54年1月20日発行 No.178



## 年頭の御あいさつ

(八〇年代への展望)

利根町長 小島 栄一郎



新しい年を迎え皆様方の御多幸を心から御祈り申し上げます。

皆様方の御支持を得て首長の座についてから早や八年を経過いたしました。

顧みれば、当時、当町は首都圏内に位置しながら人口の減少を来たし、過疎的現象を生起するに至り、町勢の衰頹と産業の不振は覆うべくもなく、私は町長就任以来まず過疎化より脱皮し、町勢の伸張と町民福祉の増進を図り、生産と生活の調和した豊かな田園都市建設を目指し、日本経済の高度成長に対応する大胆積極政策を強行してまいりました。

幸いに皆様方の御協力によ

り大規模住宅団地造成を初めとし、道路橋梁の整備、文教施設の完備、上水道の建設、その他公共施設も概ね完備し更に浄化センター誘致の効果を生かし、町の公共下水道建設が順調に進み、三万田園都市建設の基盤が確立され、ここに私の任務は一応完了し、皆様方への公約を果たしたのであります。

八年前にわたる皆様方の真摯な御協力に対し衷心より感謝申し上げます。

今後八〇年代を展望する当町の重点施策は、要約すればまず生活環境の整備(特に公共下水道建設の促進)を重点的にすすめるとともに既存住民と急激に増加する新規移入者の意志の疎通を図るため、コミュニティの形成に努めなお、町民生活の向上や余暇の増大により、物質的な豊かさより以上に精神的安定が求められており、真の豊かさを求める社会開発を積極的に推進することであると思えます。

ともあれ、円高不況、依然低迷を続けるであろう経済情勢の中で、多様化する行政需要を積極的に受けとめ、残り少ない任期ではありますが、次の世代に後事を托すまで、たゆまぬ努力を続ける決意でありますので、皆様方の変わぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御あいさつといたします。

利根の流れは変わらねど  
変りし町のたたずまい  
ああ故郷よ吾が町よ  
希望に燃えて開発ゆく

花咲き花散り星移り  
八年の春は逝かんとす  
ああ過ぎし日ようたかたの  
夢多かりし吾が歩み



▲早尾台団地の静かなたたずまい。  
1月7日現在で115世帯入居。先月から  
大利根交通の定期バスが開通致しました。

# 新年の御あいさつ

利根町議会議長



関口 喜一

あけましておめでとうござい  
ます。新年にあたり皆様の  
御多幸と御健康を心からお祈  
り申し上げます。

わが国の経済は、まだまだ  
先行き楽観を許しませんが、  
前途には明るい曙光も見え始  
めております。私にとりまし  
ては、今年が議長として四度  
目の新春にあたり、ひとときは  
感慨深いものがあります。

昭和五十年八月議長就任の  
際に抱いたあの緊張と決意を  
いま改めて思い起こすことも  
に四年間の町政の足どりがよ  
みがえつてきます。

まず、学校、屋内運動場、  
プールの建設や町道路の整備  
また、上水道の建設に伴い公  
共下水道の整備など基幹的な  
事業に加え、文化活動の促進  
や社会福祉の充実など多様化  
した町民の要望にも応えてま

いりました。

昨年を振り返ってみますと  
政府の公約として景気の本格  
的な回復に国の内外から大き  
な期待が寄せられた年でした。  
しかし、打ち続く円高、ド  
ル安の経済環境のもとで、こ  
の公約も期待はずれに終わる  
公算が大きくなり、国および  
地方自治体においても行政需  
要の増大と税収入の伸び悩み  
というアンバランスに厳しい  
財政運営を余儀なくされる結  
果となりました。

このような景気の低迷が続

くなかで、これまでの経済発  
展を評価しながらも公害や自  
然破壊、あるいは精神的緊張  
を伴う高度経済成長型社会か  
ら「生きがいのある生活」へ

「物」だけではなく、心の豊  
かな生活を求めて文化社会へ  
の指向が強まっています。

このような時、二十一世紀  
を展望する新しい利根町の創  
造に向かって第一歩を踏み出  
すことです。社会が大きく変  
動し、未来が不確実になって  
いる今日、町政の将来を的確  
に展望し、望ましい未来を切  
り開くための長期的総合的計  
画の必要性が強まっています。  
こうした時期に皆さまと  
もに対話の政治をすすめてま

## 就任の御あいさつ

利根町収入役 秋山 晴



した。

私儀このたび命により、  
一月一日付をもちまして利  
根町収入役に就任いたしま

つきましては浅学非才、  
力量の足らざるを憂うるも  
のであります。地方自治  
の進展にたゆまざる努力を  
いたす所存であります。今  
後ともなお一層の御指導  
御鞭撻を賜りますようお願い  
申し上げます。就任の御あ  
いさつといたします。

いりたいと思っております  
で、今後とも変らぬ御指導と  
御協力をお願い申し上げます  
て新年の御あいさつといたし  
ます。

## 町政モニター記録

—— 随時意見 ——

小川 セツ (横須賀)

公民館のいちようもすつか  
りおちてつめたい風が庭いっ  
ぱいに吹き、子どもたちのい  
なくなつたさびしい風景を眺  
めながら思いました。

この広い庭が子どもたちの  
遊び場になつたらどんなにの  
びのびと遊べるかと、そして  
危険場所に遊ぶ子どもはいな  
いかと、父兄交替で巡回して  
歩いたことを含め、遊ぶ場所  
を禁止する前に遊ぶ場所を与  
えていただけたら子どもたち  
は、どんなにか幸せかと思ひ  
筆を取りました。

どうぞ文小の跡地(校庭)  
を子どもたちの遊び場にして  
ください。

公民館もとてもきれいで  
き、いろいろな活動がはじめ  
られ、仕事の合間に勉強させ  
ていただいております。

もうひとつお願いなのです  
が、一部屋をたたまにしてい  
ただけたらと思ひます。

## 回答

教育長 武藤 英夫

(1) 文小学校の跡地(校庭)は  
子どもたちの遊び場として  
大いに利用していただきた  
い。

(2) 文の公民館は現在三つの部  
屋しかなく、多目的に使用  
するのにたたまにしていしま  
うと机や椅子の使用ができ  
なくなるので、一部屋にだ  
けカーペットを敷いてある。  
その点ご了承願ひたい。



公民館文分館

# 議 会 だ よ り

## 53年度の一般会計予算は 十七億八百三十五万六千円に 【第四回利根町議会定例会】

昭和五十三年第四会利根町

議会定例会は、昨年十二月十日(五日午前十時から(会期は五日間)役場の会議室で開かれ

昭和五十三年度利根町一般会計補正予算等十五件の議案が審議され、議案は継続審議になつていた一件が修正可決を

見、あとはすべて原案どおり可決(認定・同意)されました。

その他、通告制による一般質問(一議員のみ)と第三回定例会の際付託された請願の審査報告並びに議案の審査報告も行われました。

議会の概要は次のとおりです。

○議案第一号 昭和五十三年度利根町一般会計補正予算(第四号)について

昭和五十三年度の利根町一般会計予算が次のように補正されました。

追加補正額歳入歳出とも  
五千三百二十四万円

既定額

十六億五千五百一十一万六千円

合計

十七億八百三十五万六千円

補正予算の歳入及び歳出については次のとおりです。

◎歳入

○町税

五千一百五十三万八千円

○地方交付税

△四千五百八十六万九千九百円

○使用料及び手数料

三万円

○国庫支出金

二千九百二十一万三千円

○県支出金

七百七十六万七千円

○諸収入 九百四十万六千九百円

○町債 九百十万円

歳入合計 五千三百二十四万円

◎歳出

○総務費 一百八十六万九千九百円

○衛生費 一百一十三万三千円

○農林水産業費

一千四百五十万八千円

○商工費 十二万四千円

○土木費

一千三百八十五万円

○消防費 二百五十三万円

○教育費

二千三十四万六千円

歳出合計

五千三百二十四万円

歳出のうち主なものをあげると次のとおりです。

○回覧板製作費 四十八万円

○複写機購入費 五十万円

○電算委託料

二百五十八千円

○布川小学校汲取料

八十二万六千七百五十円

○松くい虫伐倒薬剤散布委託金

四百四十二千円

○大豆種子代補助

三十三万七千五百円

○転作特別補助金

六十一万一千円

○転作目標面積達成補助金

一百一十四千円

○家畜ふん尿有効事業補助金

一百一十七千円

○幹線排水浚渫補助金

一百万円

○補償補填及び賠償金(土木費)

四十七万三千三百八十円

○町道五二号線ほか二路線改良工事費 一百二十万円

○町道三六八号線(布川小入口)擁壁工事費

二百二十万円

○町道三四号線(羽根野台)区画線工事費 九十万円

○橋梁新設(羽根野地先)基礎調査委託料

二百万円

二百二十万円

○町道三四号線(羽根野台)区画線工事費 九十万円

○橋梁新設(羽根野地先)基礎調査委託料

二百万円

○町道四〇四号線舗装新設工事費 六十四万円

○町道二五〇、二四八号線舗装工事費 八十万円

○町道四六九号線ほか二路線舗装新設工事費ほか

二百二十万円

○町道四〇四号線舗装新設工事費 六十四万円

○町道二五〇、二四八号線舗装工事費 八十万円

○町道四六九号線ほか二路線舗装新設工事費ほか

二百二十万円

一百八十三万円

○町道十一号線改良工事家屋移転工事費ほか

六百万円

○町道十一号線改良工事に伴う用地買収代金

三百八十九万九千九百円

○下屋敷公団作製委託料

七十一万二千二百九十円

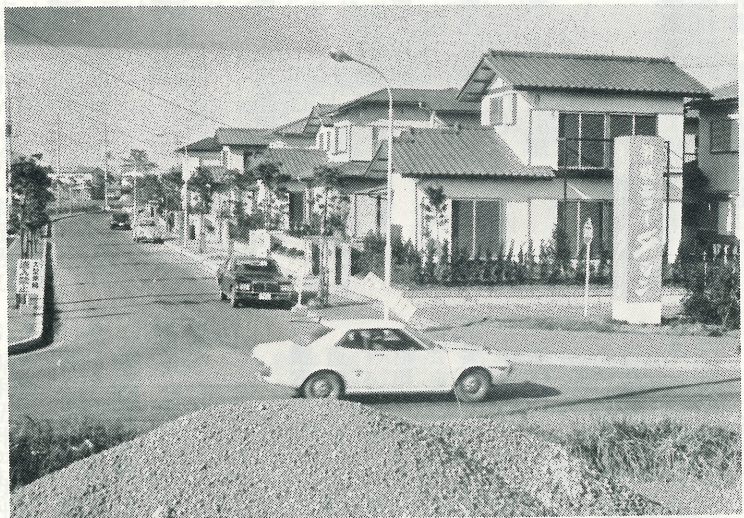
○消防団員退職報償金

一百五十万円

○消火団員退職報償金

一百四十五万円

(4) ページへつづく



▲利根ニュータウンのただずまい

1月7日現在66世帯入居

○布川小学校浄化槽設備工事  
二百五十万円

○布川小学校体育館建設に伴う  
電波障害第二期共同聴取  
設備工事 四十二万六千円

○布川小学校建築校舎周囲土  
盛整地工事  
二百五十万円

○文小学校、机、椅子代  
五十万円

○文間小学校校庭拡張のため  
の用地買収による作物補償  
金 七十万三千元

○布川小学校建築設計委託料  
五十五万四千円

○建築工事費(布川小学校)  
一千二百三万円

○議案第二号 昭和三十二年  
度利根町国民健康保険特別  
会計補正予算(第一号)に  
ついて

昭和三十二年利根町国民  
健康保険特別会計が次のよう  
に補正されました。

事業勘定追加補正額歳入歳  
出ともそれぞれ

五百八万四千円

既定額

二億九千九百二十三万六千  
円

合計

三億四百三十二万円

なお、この補正予算の歳入  
については、繰越金であり、

歳出については、そのほとん  
どが高額療養費です。

○議案第三号 利根町職員の  
給与に関する条例の一部改  
正について

国家公務員の給与に関する  
人事院の勧告に基づき、地方  
公務員もこれに準じて給与の  
改定(平均三・八四%アップ)

が行われるもので、これに関  
する町の条例の一部が改正さ  
れたものです。

○議案第四号 利根町特別職  
の職員で常勤のもの給与  
及び旅費に関する条例の一  
部改正について

町長、助役及び収入役の旅  
費が次のように改正されま  
した。

車賃1kmにつき二十五円が  
三十円に。

この条例は、公布の日から  
施行し、昭和五十三年十二  
月一日から適用。

○議案第五号 利根町特別職  
の職員で非常勤のもの報  
酬及び費用弁償に関する条  
例の一部改正について

公民館長の月額報酬が次の  
よう改正されました。

カッコ内は改正前の額  
中央公民館長

一〇〇、〇〇〇円  
(八〇、〇〇〇円)

公民館分館長  
三〇、〇〇〇円  
(一五、〇〇〇円)

また、特別職の職員の旅費  
についても次のように改正さ  
れました。

車賃1kmにつき、二十五円  
が三十円に。

この条例は、公布の日から  
施行し、昭和五十三年十二  
月一日から適用。

○議案第六号 利根町職員の  
旅費に関する条例の一部改  
正について

内容は議案第四号と同じで  
す。

○議案第七号 利根町国民健  
康保険条例の一部改正に  
ついて

この件は、国民健康保険税  
が高額にたつたため、従来四  
期に納入していたものを六期  
に分けて納入しやすいうよう  
に改正したものです。

この条例は、公布の日から  
施行し、昭和五十四年四月一  
日から適用。

○議案第八号 昭和三十二年  
度利根町一般会計歳入歳出  
決算認定について

歳入総額  
十六億四百四十万四千円

歳出総額  
十五億四千八百八十七万  
三千元

歳入歳出差引額  
五千五百五十三万一千円  
(五十二年度へ繰越)

○議案第九号 昭和三十二年  
度利根町国民健康保険特別  
会計歳入歳出決算認定につ  
いて

(事業勘定)  
歳入総額  
二億五千八百四十万七千  
円

歳出総額  
二億四千四百三十八万八  
千円

歳入歳出差引額  
一千四百一十九千九千円  
(五十三年度へ繰越)

(施設勘定)  
歳入総額  
四千三百四十六万六千円

歳出総額  
三千六百七十六万四千円

歳入歳出差引額  
六百七十万二千円  
(五十三年度へ繰越)

○議案第十号 昭和三十二年  
度利根町下水道事業特別会  
計歳入歳出決算認定につ  
いて

歳入総額  
一億七千六十五万二千円

歳出総額  
一億二千六百七十七万一  
千円

歳入歳出差引額  
四千三百八十八万一千円  
(五十三年度へ繰越)

以上の三件については、町  
の監査委員桑原芳雄氏、鈴木  
茂氏の最終監査(地方自治法  
第二二三条の規定による審査)

もすみ、収支ともに正確にし  
て規定に違背したる点なく、  
かつその計算は、帳簿ならび  
に証書類と照合し、すべて正  
当なるものと認める。どの報  
告があり、提出された決算書  
のとおり認定されました。

○議案第十一号 県南広域水  
道用水供給事業の実施に関  
する協定書の締結について

昭和五十三年第一回利根町  
議会定例会(三月十日提出)

議案第十三号「利根川用水供  
給事業の実施に関する協定書  
の締結について」は、利根川  
から取水するというものであ  
るが、この事業を進めるにつ  
き、厚生省から持定広域補助  
事業(補助率13%)で行うよ  
う指導があったこと、及びこ

(5)ページへつづく

の事業から給水の受けられない市町村は、県に対し陳情を行ったこと等により、新たに河内村、東村、新利根村、江戸崎町、桜川村、土浦市及び阿見町を加え、計画給水量、一〇〇、〇〇〇トンを一五〇、四〇〇トンに変更して実施することになり、協定書の変更を行うものです。

このほか変更の主な点は、一般広域補助事業は補助率までですので、給水原価が一三三円から一一八円と引き下げられたこと。県に対する貸付金の割合が、八八四、〇〇〇円から八六五、〇〇〇円に引き下げられたこと及び総事業費が三五〇億円から五一〇億円となったことなどです。

工事期間及び給水開始時期については変更ありません。  
〔注〕詳細については、紙面の都合で省略しました。

○議案第十二号 工事請負契約の締結について

次のとおり工事請負契約を締結するものとする。

- 一、契約の目的  
53国補公下第一一一号工事
- 二、契約の方法  
指名競争入札契約
- 三、契約金額  
五千四百二十万円

四、契約人住所氏名

茨城県北相馬郡利根町大字  
布川三四三三の一  
常総開発工業(株) 利根支店  
常務取締役支店長 石津 謙吉

○議案第十三号 工事請負契約の締結について

次のとおり工事請負契約を締結するものとする。

- 一、契約の目的  
53国補公下第一一二号工事
- 二、契約の方法  
指名競争入札契約
- 三、契約の金額  
四千七百三十五万円
- 四、契約人住所氏名  
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目十三十八  
フジタ工業(株) 東京支店  
常務取締役支店長 五味 正夫

○議案第十四号 工事請負契約の締結について

次のとおり工事請負契約を締結するものとする。

- 一、契約の目的  
53国補公下第一一三号工事
- 二、契約の方法  
指名競争入札契約
- 三、契約金額  
四千四百二十五万円

四、契約人住所氏名

茨城県水戸市三の九一丁目  
四番七三号  
大都工業(株) 北関東支店  
支店長 山辺 正

○議案第十五号 収入役の選任について

利根町収入役に次の者を選任したいから地方自治法第一六八条第七項の規定によって議会の同意を求めます。

利根町大字布川三〇七〇番地の一八  
秋山 晴

昭和五年二月二十八日生  
〔注〕秋山 晴さんは、実質的には長い間、利根町収入役職務代理者として収入役の仕事をしてこられた方です。

○請願審査報告について

委員長佐々木民三議員報告  
さきに、総務常任委員会に付託された「農地の固定資産税に関する請願」は、同委員会で審査の結果、採択することと決定した旨報告されました。

なお、本会議でも採択と決定されました。

○委員会審査報告について  
委員長佐々木民三議員報告  
総務常任委員会に付託(九月二十二日付)されていた「議案第十三号 一航消費税の導入反対に関する意見書の提出について」は、修正して可決すべきものと決定した旨報告され、本会議でもそのまま可決されました。

なお、修正された意見書は次のとおりです。

一、一般消費税に関する意見書  
先般、政府税制調査会は、一般消費税の仕組みに関する試案を公表した。わが国の経済が安定成長を続ける中で、生活環境の整備や社会保障の充実など、行政に対する国民の要請にこたえるためには、国、地方公共団体にとって新たな税源を確保することは、極めて重要な課題である。

しかしながら、一般消費税が実施された場合、物価及び景気など国民生活全般に及ぼす影響が懸念され、住民の世論も、現行税制に対する不公平感の除去あるいは行財政の改革、合理化が先決であるとする意向が強い。

よって政府においては、新税の創設に当たっては、後記事項に十分留意され、国民的合意を得るための努力を重ねるとともに、世論の動向に配慮しつつ慎重に対処されるよう強く要請する。

記

一、一般消費税は、収入の多少にかかわらず、すべての消費者に課税される大衆課税である。

二、一般消費税は、物価に上乘せられ、物価騰貴を招くおそれがある。

三、一般消費税の税負担を価格に上乘せすることの困難な中小零細企業にとっては価格の引き下げを強いられその経営を困難にすると予想される。

以上、地方自治法第九九条第二項の規定により意見書を提出する。

県議会議員は無投票で川口三郎氏に決まる

昭和五十三年十二月十日に行われる予定であった県議会議員選挙北相馬郡選挙区(利根町・藤代町・守谷町)は、十一月二十九日午後五時に立候補の受付が締切られ、その結果、定数一に対し、立候補者が一名で選挙すべき人員に達しないため、無投票となり当選者は、川口三郎氏に決定しました。

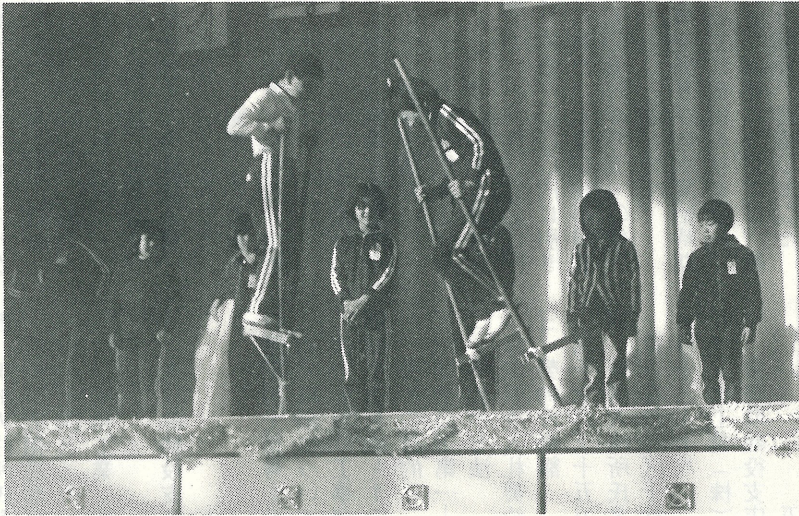
☆☆☆☆☆☆

社会活動  
歳末たすけ合い運動にこ協  
力ありがとう

毎年行われている歳末たすけ合い運動は、優秀な成績で終わりましたので、その結果を報告して厚くお礼を申し上げます。

収納

もち米 二九・八五kg  
白米 五二一・四kg  
現金 九〇八、三五七円  
現金の中には、布川、文、文間、東文間四地区のほか、役場職員、利根町愛鳥会、文



▲12月13日東文間小学校で行われた児童会主催による文化祭のひとこま。

間小学校、文小小学校の先生方からの多額のご寄付が含まれております。

これらの金品は、次のように配分されました。

配分

町内の低所得家庭四一戸、  
一一〇人へ、もち米及び白米全部と現金六八八、三五七円

在宅の身体障害者、交通遺児、独居老人のうち低所得者二一人へ一〇五、〇〇〇円。

施設に入院入所している方  
三人に二五、〇〇〇円。  
なお、受給者から厚くお礼を申されましたのでお伝えいたします。

善意銀行に善意の預託

布川の杉野梅吉さんから電

「はしか」の予防接種(続)

前回書きましたとおり「はしか」の予防接種は、個別接種です。子どもを適当な時期にかかりつけの病、医院に連れていって注射を受けるのです。「はしか」の予防接種は今までは、希望者だけ受ける任意接種でしたが、こんどは

該当者は全員受けるよう法律で決められましたので、まち

気洗灌機五台のご預託がありました。厚くお礼を申し上げます。町内の洗濯機にご不自由なされているご家庭へ払い出しをいたします。

文化祭バザー益金を町の社協に寄託

十二月十三日東文間小学校では、児童会主催による文化祭が行われました。行事には先生や父兄も協力して盛大に行われ、その後チャリティーとしてバザーを開き、その益金を町内の恵まれない人たちにと町の社協に八、〇七一円の寄託がありました。

これをありがたくお受けして恵まれない人たちのため役立たせていただきます。  
東文間小学校児童会の皆様  
ありがとうございます。

「けいれん」を起こした人は注射できないことがあります。

(三)今「はしか」に感染して潜伏期にある人は、予防注射をしても効き目が出ないことがあります。しかし「はしか」の生ワクチンを注射してもそのために反応が強くなり「はしか」が重くなったりすることはありません。

(四)「はしか」の予防接種の最も適した年令は、生後一年半から三年で、生後一年後は効果が十分現われないことがあります。

(五)六才まで期限があるのは、病気やその他の理由で三才までに注射できなかった人が三才以後でも注射できるような便宜を計り決めたものです。

(六)満一才～満六才の間に「はしか」の予防接種をして、万一重い副反応のため障害を残し、あるいは死亡したようなときは、他の定期予防接種のときと同様救済制度が適用になります。

(七)その他不明な点は、町役場の係りか、かかりつけの先生に相談してください。

(取手市医師会健康教室)

がいないようにしてください。  
主な注意事項は、別に広報紙上に掲載されるはずですがその他二、三書いてみましょう。

(一)「はしか」の予防接種をして副反応が強くなったときは医師の診察を受けてください。

(二)一年以内に「ひきつけ」や

# 水田利用再編対策 事業町補助金決定

A. 目標達成者 (10アール当たり)  
 当初補助 + 追加補助 + 目標達成上乘 + 限  
 5,000円 3,500円 2,000円  
 度数量上乘 (1俵100円)  
 (50俵の場合) 5,000円 = 15,500円

B. 目標未達成者  
 当初補助 + 追加上乘 + 目標達成上乘 + 限  
 5,000円 3,500円 0  
 度数量上乘 (1俵100円)  
 0 = 8,500円

◎ 転作に大豆を使用した者には、10アール当たり  
 り1,500円の種子代を補助する。

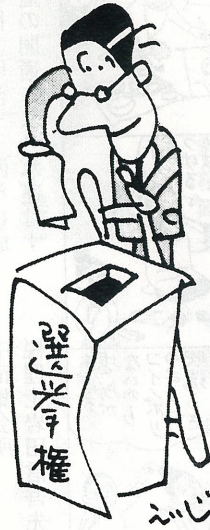


## 選挙権

「一票の重み」を大切に

私たちは、選挙権を行使することによって、国政をはじめ都道府県や市町村の地方政治に参加する機会を得るのです。  
 選挙権は、日本国民で年齢が満二十歳以上など、諸要件を満たした人に与えられますが、実

選挙人名簿の登録は、毎年一回、九月に定時登録が行われますが、そのほか、選挙が行われるときには、そのつど登録できます。



成人になったことの象徴ともいえる権利の一つに、選挙権があります。

実際に選挙権を行使するためには、市町村の選挙管理委員会が作成している選挙人名簿に登録されることが必要です。

登録は市町村選挙管理委員会が行いますが、選挙人名簿は一定期間、公開されます。万一、登録もれの場合は、補正登録を

することもできます。とくに、住所が変わったときなどは、確認をして、貴重な選挙権がムダにならないよう心がけたいものです。

## とね俳句会

(十二月十日)

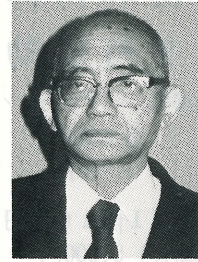
名も知らぬ小鳥水飲む小春かな  
 葉ぼたんの色濃き株をえらびけり  
 うたたねの疲れに熱き炬燵かな  
 着ぶくれて何を願ふか村社  
 枯れ草の背よりも高く吾子を抱く  
 樽洗ひ大根干して空眺め  
 明日の米といで炬燵へ仲間入り  
 こたつ出て友見送るや寺の鐘  
 ほろ酔ひの炬燵寝の夫夢いずこ  
 退院の喜び分かつ柚子湯かな  
 花八つ手投函の子の一走り  
 父と子の会話乏しき炬燵かな  
 今朝は又葉ボタンの色さえにけり  
 競り売りの声ひびき合う年の暮  
 葉牡丹や黄昏どきの中華店  
 葉牡丹の色鮮かに古稀祝ひ  
 夜も更けてみかんの皮の置ごたつ  
 葉ぼたんに雲の暮色を灯して置く  
 思はざる人に葉牡丹もらいけり  
 葉牡丹の残りし苗を分ちけり  
 枯るるもの蔓で捕へて藪からし  
 知る人も知らぬも語る焚火かな  
 床の書に勝る葉牡丹活けにけり  
 背を丸め炬燵の姉や亡母に似て  
 炬燵ぬくく心うつろに話し聞く  
 学舎の子を待つ母や置炬燵  
 葉牡丹の鉢求めきて心足り  
 正座せば書くにらくなり置炬燵  
 裁つ妻は炬燵離れて語りかけ  
 一人居の分校宿直おき炬燵

- 井原 登志
- 山田 喜道
- 高野 陽子
- 石川 英子
- 五十嵐 ゆき
- 白井 照子
- 香取 房子
- 佐良 芳子
- 多田 美鶴子
- 宮原 幸夫
- 小松 美子
- 山田 幸夫
- 長島 平衛
- 古田 和子
- 海老原 和子
- 白井 勇太郎
- 羽入 勇太郎
- 足立 水石
- 高橋 直
- 杉山 たくお
- 中川 やす
- 海老原 甚三郎
- 下村 慶子
- 黒沢 邦子
- 三谷 てるを
- 新井 柳子
- 大津 蒼崖
- 大津 きく女
- 大津 まこと
- 長沼 霞水

次回 は 正月の句通じて三句  
 一月十四日・午後一時・中央公民館

# 新年の御あいさつ

利根町商工会会長 新井太郎



は蒸気船第一通運丸が利根川に就航し、東京との川の交通がいつそうはげしくなり、商業の要地となりました。

「出船入船大利根理めてこは千軒米どころ」 布川河岸にたくさんの高瀬船が白帆を風に鹿島、小見川、佐原あたりからお米を積んで出入りしたとのことでした。

また、利根の棧橋では「すぎ姉さの湯もじが赤い高瀬水棹もそら迷う」など、川筋には、河岸がいくつもあり町にはたくさんの米屋さんがあつて人の出入りが多かったので、料理屋が繁昌し、更けるまで三味の音色が絶えなかつたそうです。

三回は、月船という友を尋ねて来たというし、明治十年に



たれましたが、現在栄橋の方へ目を向ければまるで光が走るように千葉、東京方面への自動車の交通のはげしさ、首都圏であるこの利根町の発展が進む時代の波の中にあるとつくづく思います。

朝夕のニュースには、世界の経済など論議されていますが、経済のことは、国会議員の方々にお願ひして、一日も早く不況を脱して好況への道を開いていただきたいと思ひます。

## 商工会だより

- 事業のお知らせ
- 決算・申告個別指導
  - 二月十五日 十一三時
  - 二月二十五日 十一三時
  - 三月五日 十一三時

中宿集会所  
税理士岩田信吾先生

まず土地に惚れ、女房に惚れ家業に惚れると、これを三惚と言つて家族みんなで心一つに時代の流れに流されないうに、あの店へ行けばと言われるように各商店ごとに特徴を生かし、創意工夫をいつも心に会員の方々には、今年も引き続き町のお店をお引き立てくださるよう心からお願ひします。終わりに皆さまのご健康とご幸福をお祈りして新年のごあいさつといたします。

## 利根町人事

〔収入役選任〕 一月一日  
収入役 秋山 晴  
(収入役職務代理者)

〔新採〕 一月一日  
厚生課 蛭原 浩志  
教育委員会 堀内千代子

〔退職〕 十二月三十一日  
布川小学校給食婦 遠山正八郎  
保険衛生課長 松本 朋子  
教育委員会 布川小学校給食婦

あぶない!!  
電線の近くでの  
タコあげは  
やめまじよう

タコとりは、電柱にのぼらないで東京電力へお知らせください。  
電話02976(2)2116  
(東京電力)

○商業振興懇談会(地域商業発展について)  
二月二十七日

○経営改善資金申込受付中  
担保なし・保証人なし・年利六・六%・商工会員(一年以上)  
設備・運転資金ご入用の方は早めに申込みをしましょう。  
(利根町商工会事務局)

町勢 (昭和54.1.1現在)	世帯数	2,659
人口	11,010	{ 男 5,462 女 5,548 }
発行所	利根町役場	利根町報
町長	小島栄一	編集総務課
編集	利根町総務課	印刷
電話	(029768) 2211	印刷